平成２２年１１月４日（木）

お題目塚供養

十一月二日（火）妙照寺主催のお題目塚供養に今年も参加させて頂きました。

お題目塚の由来ですが、みなさんご存じのように、金華山にある岐阜城は斉藤道三をはじめ多数の英傑の興亡の地として幾多の戦が行われ、多数の戦没者を出しております。これらの霊を慰めるため、いつのころからか無名の信者によって「南無妙法蓮華経」のお題目碑が建てられました。これが、お題目塚の始まりのようです。

時が流れ、第二次世界大戦でも空襲により多数の命が失われました。その多数の英霊を合祀し世界の平和・人類の幸福を祈るため毎年二回、春と秋に大供養祭を行ったのがお題目塚供養の始まりとされています。そして、時代が流れ様々な事情で年に一回の開催となってしまいましたが、現在もその意を汲んで開催されています。

山頂へはロープウェイを使って登りますが、最後はやはり徒歩で登りたいとの気持ちで七面山参拝団の時は扇太鼓を叩き、同じ参加者の思い、扇太鼓を叩きながらお題目を唱え歩きました。

市内の各寺院から今年もたくさんの方々が供養に訪れていました。

妙照寺・堀上人からお題目塚供養の最後に、お題目塚供養の由来などについての説明などがありました。

近いので「いつでも来ることが出来る」。そう思っていて、なかなか訪問する機会のない金華山。今回ですが、久しぶりに長良川を見下ろしました。

最後に堀上人と記念撮影です。

現在の日本はとても平和ですが、この平和は私たちの両親をはじめ、ご先祖様のお陰であると言うことを改めて認識することが出来ました。

良い機会を与えて頂きありがとうございました。